



れいわ おがわ かずま 議員 小川一馬

## 財政状況(計画)について

**問** 山武市の財政状況について伺います。

**答** 市長 歳入面では、全体の4分の1を占める普通交付税において、合併算定替特例が平成28年度以降、段階的に縮減され、令和2年度を最後に終了となります。

歳出面では、老朽化が進む公立施設の修繕費用や扶助費が年々増加傾向にあり、歳入不足による財政調整基金の取り崩しを余儀なくされているところがあります。

**問** 市税と財政調整基金が減少していく中、人件費や公債費など、将来の財政計画について伺います。

**答** 総務部長 人件費は減らすことが厳しくこのまま横ばいと見込んでいます。歳入面については、人口減少に伴い、税収や交付税の減収を見込んでおり、歳入不足を財政調整基金の取り崩しで補う計画となっておりますが、令和9年度末の財政調整基金の残高は、27億3千万円程度が確保できる見込みです。

ふるさと納税については、山武市への寄付は1千万円ですが、茨城県境町は61億円で、本市の市税よりも多い状況です。今後、積極的に推進した方が良いと思うがどうですか。

**問** 市税と納税は、非常に大事なキーワードになるものです。市の地場産業の振興につながるものを色々と発掘し、進めていきたいと思えます。

**答** 市長 市税と納税は、非常に大事なキーワードになるものです。市の地場産業の振興につながるものを色々と発掘し、進めていきたいと思えます。



ふるさと納税  
返礼品(一部)

**問** 合併特例債の借入状況について伺います。

**答** 総務部長 市の合併特例債の発行可能額は、256億9千万円です。今後68億円程度の借入を予定しており、残りの発行可能額は36億円程度と見込んでいます。

松尾小学校の建て替えについて、児童数が減少していく中、現校舎より面積が大きくなるという説明ですが、その理由について伺います。

**問** 松尾小学校の建て替えについて、児童数が減少していく中、現校舎より面積が大きくなるという説明ですが、その理由について伺います。

**答** 教育部長 現在の教育の形に合わせて設計をしており、オープンスペースや階段教室の配置、高機能・多機能で多様な学びをつくる施設として、アクティブ・ラーニング(生徒が能動的に学ぶ授業)が積極的に行われる環境となるようにしたことにより、現校舎より大きくなっています。

## 小中学校統廃合(計画)について

**問** 学校統廃合の進捗状況について伺います。

**答** 教育部長 蓮沼中学校と松尾中学校の統合は、4月以降、統合準備委員会を設置し、令和4年4月の統合に向けた準備を行っていきます。

**問** 成東中学校の存続についての説明が先日もありましたが、内容について伺います。

**答** 市長 令和2年2月6日の総合教育会議において、成東中学校を当面の間存続し、新たなまちづくりの中で、学校の在り方についても考えていきたいとお願ひし、合意されました。

**問** 蓮沼中学校の地元の声として、

2度の反対署名、3160人分の嘆願書が上がっているにも関わらず、市長は12月議会で、重く受け止めているが、統合を進めるといふ答弁でした。強引な統廃合だけはやめて頂きたい。地元の方々は、学校は地域の宝、財産だと言っています。もう一度、市長自らが、話を聞く機会を作っていただきたいがどうですか。

**答** 市長 署名を、軽々に扱っているつもりはありません。重く受け止めていることは確かです。しかしながら、複数のクラス配置がされ、教員の配置も充実して、クラス替えを行い、友達や、活動の幅を広げ、社会性も養いながら、大勢の中で学んでほしいと思います。確かに蓮沼中学校の生徒は優秀な成績ということもありますが、平等な環境で教育を受けて頂きたいと思っています。

**答** 教育長 少子化による学校の小規模化がもたらす、様々な影響の解消を図っていくことが大変重要だと思えます。そのために、長年にわたり、協議を重ねてきました。蓮沼中学校の統廃合の時期については、かねてより早急にこの単学級化の解消をするべきであると判断をして、令和4年4月に統合という結論に至り、準備をしているところですが、今のところ、変更の予定はありません。

## 個人質問